

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例911

発生場所 検査室・処置室

精神・意識障害の有無

リスク

発生場所（その他）

無

D. スタッフによる物の不適切な使用・利用・選択・設置・確認不足によるリスク

関連したもの 点滴スタンド

発生内容の分類

落下物

発生内容

MR検査室で吊り下げ式点滴棒が患者の顔面に落下

概要

患者はMR検査で検査台の上で仰臥位となって体幹固定をされている途中であった。技師が最後の固定帯（マジックテープ式）を胸腹部にかけようと上部に両手で伸ばした際、天井フックに吊り下げていた点滴棒の下方に手が当たり、その拍子でフックから外れて患者の顔面に落ち口唇が内出血した。

要因

MR室専用の点滴棒は複数あるが、吊り下げ式を使用することはほとんどなかった（フックの高さが天井近くなので届きにくい）が、常時吊り下げたままであった。検査台を上昇させた状態でベルト固定をしたため伸ばした手の高さが高くなってしまった。

対策

常時外しておき、使用するときのみ吊り下げる。

参照



つり上げ位置と固定帯をしようとしている状況を再現